

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

MHK・トピックス

三菱電機ホーム機器(株) OB会のご紹介

4年前、MHKのOB会が発足しました。「菱花会」(ひしはなかい)といいます。現在会員数は、108名、女性が28名で全体の26%を占めています。

総会は、毎年10月に会社の創業祭に合わせて実施しています。総会の後、クッキングスタジオで商品PRを兼ねての料理実演をしながら懇親会、その後創業祭に合流し、元の職場や旧友、後輩との交流を図っています。

サークルは、現在、ハイキング、釣り、カラオケ、パソコンの4つあり、年々活動が活発化しています。

- ・ハイキング同好会は、秩父の札所めぐりが定番。これまで4回を数え、参加者も回を追って増えています。途中、秩父路の四季折々の風景や味覚、露天風呂、地酒蔵元の工場見学と試飲などを楽しみながらの、変化に富んだ大変楽しいハイキングです。
- ・釣り愛好会は、昨年6月相模湾大磯港ヘキス釣りを実施しました。山っ子だけに、投げた仕掛けが海に落ちずに竿先に絡んだり 船べりに落としたりの悪戦苦闘。それでも釣ったキスはスタイル抜群、淡い桜色の透き通るような色合いに大感激の海釣りでした。
- ・カラオケ同好会は、昨年6月発足、発足会を日帰り温泉「かんなの湯」で開催しました。温泉そっちのけで、昼食をはさんで4時間半歌い通しました。女性が中心で、皆さん大変お上手です。
- ・パソコンサークルは、当面ネット上で、パソコンの楽しみ方などの情報を提供しています。

その他、全体行事として昨年11月に日帰りバス旅行を実施しました。浜離宮、築地、浅草、ソラマチ等を散策し、会員の交流を深めました。参加は女性23名男性10名で、ここでも女性が大活躍でした。

会報(機関誌)も 年4～5回発行して情報発信と交流を図っています。ネット読者は 56%です。

年会費は、1,000円で運営しています。

・菱の実会と比べ、女性会員とネット読者が多いことが特長です。

MHKに出向経験のある 菱の実会の皆さん、この若い「菱花会」に参加しませんか。

希望者は、菱の実会事務局 または直接、次の菱花会事務局宛メール又は電話でお申し込み下さる様お願いいたします。

担当 内田 メール uchida@hon.mhk.co.jp
電話 048-584-1232



シリーズ・同期会

37会(S37年同期入社)旅日記

中庭 徹

12月6日から8日まで、2泊3日の忘年会を兼ねて、沖縄旅行を実施いたしました。某旅行会社のツアーに参加して、羽田までの送迎バスに乗り込み、空港で他地区の参加者と合流し、総勢35名の団体旅行となりました。

出発は、朝5時バスに乗車というハードなスケジュールとなったが、会員全員(14名)参加の快適な旅であった。同期の旅行は、前回の(香港・マカオ・シンセン)旅行から2年ぶり。また、沖縄は28年前の若き日に来ており、今回2回目である。前回は、数名が都合で参加できなかつたこともあります、今回この地を選んだ一つの理由でもあります。観光は天候に恵まれ、気温20度と最高条件の下、各地を巡ってまいりました。定番である観光の一部を紹介しますと。

「1日目」・首里城公園の見学。ただ残念だったのは守礼の門が改修中で全容が拝見できなかつたことです。

「2日目」・海洋博公園へ。広大な大自然に囲まれた花と海と緑の公園である。敷地内には数々の見学施設はあるが、脚力と時間の関係で「美ら海水族館」に入り、最大級ジンベイザメ・マンタを見てただ驚くばかりであった。その後万座毛へ。東尋坊のような断崖があり東シナ海の眺望を見て大感激。(右の写真)



「3日目」・玉泉洞へ。国内最大規模と言われる、鍾乳洞の造形美を890メートルのわたり見学をしました。

ひめゆりの塔にも参拝しましたが、特に心を打ったのがこの地でありました。学生でもある若い女性が、戦争の犠牲になった悲痛な歴史を語る場所である。その後、普天間基地を車窓から見学。現在世間を騒がせているオスプレイを見ることはできなかつたが、自衛隊基地でのPAC3配備は目にすることが出来た。戦後生まれの私たちは、平和と言う簡単な二文字だが、そうあってほしいと願うばかりである。

三日間に亘り、沖縄の伝統芸能である島歌三線ライブ・エイサー踊りを3回も観覧することが出来、さらに旅行を楽しいものにいたしました。夜の楽しみでもある宴会では、ツアーの関係で他のお客様もあり、盛り上がりがもう一步の所もあったが、アルコールが減り逆に良かったと、幹事として自己満足しております。しかし、道中・ホテルでの会話は、年齢のせいか体調の話題で持ちきりである。その反面喫煙者は同期14名中8名もいる。私もその一人である。今後も健康には留意し、更に同期の絆を継続し向上を図りたいと思う。



【会員投稿】

ありがたい・おかげさま

大槻伸次

私は、從来から宗教や哲学的なことに関心を持つこともなかったが、父は『般若心経』は心の支えだと言うのを聞いたことがあった。振り返ってみると、確かにそうだったかなと感じられ思い当たることが幾つかあった。

それは半世紀以上の昔のこと、夜半隣組で起きた不幸で悲惨な出来事の対処について、父の勇気に感激した事があった。私はもちろんのこと、近所の人たちは怖くて震え声すらなかった。父曰く、俺は『般若心経』を信仰していると平静だった。

また従兄は、認知症の妻を連れ出し、全国行脚と四国靈場巡礼の満願を果たし、よく面倒を見ていた。そして私の父や、人生半ばで亡くなった弟妹達の供養のときに、必ずお経をあげてくれたがいつも『般若心経』だった。従兄も『般若心経』は心の支えだったようだ。翻って、人をこんなにも強くしてくれる『般若心経』というお経に関心を持ったことがあった。

奈良の古刹、薬師寺の故高田好胤元管長が薬師寺再建の淨財を得るために、参拝者に「写経」をお願いしていたことはラジオやテレビでも度々取り上げられていたが、この写経が『般若心経』だと記憶している。

私自身、昨年(平成23年)は定年から満10年を迎える人生の節目の古稀でした。この10年間、地域への恩返しとして地区交番連絡協議会員6年、地区防犯常任委員5年、そして今年の3月、5年間の区長代理と区長の役を終えることが出来た(延べ16年間・定年前12年間、地域「子育連」副会長経験)。そこで、ようやく地域の役から開放され、これから的生活について考え、何か心の支えになるものはないかと思ったのが、父が熱心に信仰していた『般若心経』だった。

『般若心経』は緒先輩たちが学んだありがたいお経であり、私のような凡人がとても理解できるお経でないというのは解かっているが、一つでも二つでも生きるヒントや道筋が見つかれば幸いであろう。

そこで、『般若心経』とはどのようなお経なのか書籍やネットを使っていろいろ調べてみたところ、沢山の先生方が解説しているの目にした。

ところがどれも難しかったが、そのなかでも比較的取つきやすかったのは“元南無の会会長”的故松原泰道氏(明治40年東京生／昭和8年早稲田大学卒)の講話だった。そこから一部要点を纏めてみた。

『般若心経』の中で、最もよく知られている「色即是空 空即是色」という一節がある。難解とされるこの一節をどう理解して、どういうふうに実生活に生かしてゆくかが課題だといっている。

まず「色」には「作られたもの、形があるもの」という意味があるそうだ。同時に「壊れゆくもの」という意味ももつているという。一方、「空」は「なにもない、崩れゆくもの」という意味である。

この二つが合わさって「色即是空」となるので「色即是空」を「形あるものは、壊れ崩れていくものだ」と訳すことができる。つまり、「全てのものは移り変わっていく」ということであ

あるという。「全てが移り変わる」というと、消極的な意味にとられがちですが松原氏はプラスの方向に受け取りたいと思いますと語っている。

例えば、死は寂しいことですが、死があるから私たちが存在できる。人類の誕生の時代からの祖先がみんな生きていたら、私たち現代人は生きる場所がありませんといっている。要するに死があるから、私たちは生きることができるのである。

では、「空即是色」は「色即是空を言い換えているだけ」ではなく「空即是色」の「空」は「何も無い、崩れゆくもの」という意味と同時に、全てのものがなぜそのように存在するのか、その原理を示す言葉もあるという。

存在の原理とは、「全てのものはかかわりあって存在している。そのものだけで存在するものは何もない」ということである。

人間は独立した一個人で存在するのではなく、両親や祖先という縦のつながりがあってはじめて誕生できる。そして、口にするものや着るもの全てを自分で作ったわけがないように、他の人のつながりの中で存在しているのである。

今風に言えば、「空即是色」とは「相関関係」「共に生きる」を表した言葉といえるでしょうと結んでいる。

さらに、「色即是空=すべてのものは移り変わる」がわかるということは、「ありがたい」がわかることといえるという。移り変わる存在である以上、ここにあるということは非常に珍しいことなのです。人は生まれたら死ぬのは当然ですから、生きていくことのほうが珍しい、稀有なことなのである。稀有とは「まれにある」「あることが有り難い」、つまり「ありがたい」ということなのですという。

そして「空即是色=全てがかかわりあって存在している」が分かるとは、「おかげさま」がわかるということです。この「ありがたい」「おかげさま」を体得できれば『般若心経』を理解したといえるという。

どんな場合でも「ありがたい」、「おかげさま」と思えるような、一見なんでもないことに意味と価値を見つけていく積極的な姿勢があれば、どんな困難にも耐えることができるでしょうと結んでいる。

しかし、知識として理解できても、実際に自分の身に東日本大震災のような不幸が降りかかったら、こんな知識は吹き飛んでしまうかもしれません。ですからこの心理をどう受け止めて人生に生かしていくかが大事になってくるのである。

『般若心経』は観世音菩薩が舍利子という釈尊の弟子に「空」を説くという形をとっている。菩薩の名前は釈尊の修行を象徴しておりここに『般若心経』を体で受けとめるヒントがあるというのである。

「観」は観察、つまりよくみて真理を察しとすること、「世音」は世の中の声、という意味。観世音菩薩が象徴しているのは自分の周りを良くみつめ、そこに真理を発見する修業ということになる。これは物事の表面だけを見るのではなく、自分の体で受け止め、体得すると云うことだろう。以上で松原氏の講和の紹介をしましたが『般若心経』の解釈はこれからの自分の生き方の一つとして参考になるものである。

◇ おしらせ ◇

直に市外局番のないものは 0276 です

行事	日時	場所	申込み、他
2月の囲碁愛好会	2月18日(月) 9:30~	ブライダルスクール	(3月11日大会予定)
2月の麻雀愛好会	2月14(木)、28日(木) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 2/12 日、26 日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
2月の将棋愛好会	2月25日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
第70回 冬季 グラウンドゴルフ大会	2月18日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:500円)	申込み: 2月14日(木) 島 保夫 (52-0889) (雨天中止:翌月開催)
第60回ゴルフ愛好会 (記念大会)	4月9日(火)予定	上武ゴルフ場 (会費2000円)	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
第12回カラオケ大会	3月4日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 3月2日まで 大橋 浩 (52-3866) 江川 八郎 (52-1886)
3月のパソコンサークル	3月4日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
3月の幹事会	3月4日(月) 15:00	労組会議室	
2月の編集委員会	2月18日(月) 13:30	労組会議室	

訃報



齐藤 定雄さん（享年80歳） 太田市宝町

1月19日ご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

三菱太陽光発電・オール電化・リフォームフェア!!

開催日: 2月24日(日) 午前10時~午後4時

会場: タカラ 太田ショールーム (旧太田市民会館通り)
太田市新島町641-1 TEL 0276-48-6710リフォームをご検討中の方はもちろん、皆様
是非ご来場ください。お待ち申し上げております。菱馬テクニカ株式会社
(営業課) 0120-941650

編集後記

昨年3月末で退職し、21年の単身赴任生活から解放され群馬に戻った。

在職中は、品質・コスト・納期・遵法・社会貢献・方針・部下の育成など、常に要求されて来たが退職後はそれらが家庭など身の回りの最小限に気を回せば良く、大分気が楽だ。

退職して初めての新しい年を迎えた。以前は年末の仕事納めが終わって帰省し、家の掃除をして新年を迎えると早々に単身生活に戻ったものだが、今回からは年末の掃除も大分余裕をもつて取り掛かれるし、新年もゆったりとできるはずだった。12月に入ると娘が出産のため戻って来て、新年早々に出産ということで慌ただしい年越しとなってしまった。娘が仕事に復帰する頃には孫の子守りを押し付けられそうだ。

橋本 記

発行 2013-2-1 No. 238

発行責任者 二宮 平太郎

- 編集: 「菱の実会だより」編集委員会
- 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207